



狛江市議会議員

山本あき子

総務・文教常任委員会所属

<http://yamamotoakiko.seikatsusha.me/>

狛江・生活者ネットワーク 議会レポート

No. 7

2017年10月31日発行

連絡先：狛江市議会 狛江・生活者ネットワーク
〒201-0003 狛江市和泉本町1-1-5 (市役所3階)
電話 03-3430-1171
狛江・生活者ネットワーク事務所
電話 03-3430-1302、FAX03-5761-0678
e-mail:komanet.seikatusya@nifty.com

狛江・生活者ネットワークは二人で会派を組んでいます。
まちの課題など市政へのご意見をお寄せください。

狛江市議会第3回定例会の報告をします。
会期は2017年8/31~10/5でした。



狛江市議会議員

吉野よしこ

建設・環境常任委員会所属

<http://yoshino.seikatsusha.me/>

議会報告

◆「共謀罪」(テロ等準備罪)法の廃止を求める意見書についての陳情に賛成しましたが、賛成少数で不採択となりました。本陳情は陳情提出者が委員会で意見陳述をした初めての事例となりました。

◆来年度から狛江第3小学校に情緒障がい固定級が設置されます。教室の改修と備品の補正予算は約1300万円です。

◆遅れていた医療と介護の連携が一歩前進

在宅医療・介護連携事業として都の補助金約937万円を活用し、在宅医療、在宅介護サービスの提供に必要な職種連携に関する相談や情報提供支援事業、医療資源等のガイドブック作成、マツシステムなどを構築して

いくことになりました。

◆学校事務の効率化

公立小中学校事務共同実

施に向けて、狛江市での業務実態に即した適切な事務分担や拠点校と連携校の役割分担などを検討します。コンサルティング委託費用の補正予算は350万円です。今後、副校長の校務軽減や適切な役割分担による業務の効率化などが図られ、教員の多忙化を改善することに繋がるよう期待します。



各自治体の総合事業を点検、計画に市民参加を明文化させるなどの視点を議論、ケアラー支援法の堀越栄子さんと

2016年度決算を認定

2015年度と比較して、特徴

は民生費の増大と公債費の減額です。自治体資産の大半を占める公共施設のフルコスト分析は重要施策です。地域の防災力向上のため市民の参加・体験型取り組みを評価します。待機児解消とともに市民ニーズを的確にとらえた在宅子育て支援の充実策を求めます。都市計画マスタープランにある狛江らしい都市景観実現のための検討を要望します。

医療と介護の他職種間の関係の構築と連携を更に進め、様々なサービスで在宅生活を支えるしくみを拡充すべきです。地域包括ケアシステム構築のために敬老金の抜本的な見直しを行い、(仮)敬老金基金の創設、新たな



上川あやさんら LGBT 自治体議員連盟のメンバーと

市議会議員 山本あき子の ドキドキ日記

～さまざまな#～

市民の新たな広報活動

立憲民主党のTwitterは10月20日現在フォロワー数18万3千人。

投稿するとき「#〇〇」と入れるとキーワード検索などで同じ思いの情にたどり着きやすくなるが、この記号の事をハッシュタグという。

日々ツイートされるつぶやきからは人々の思いをのせて様々な#が生まれている。

立憲民主党立ち上げ直後は「#枝野立つ」「#草の根なう」、演説に思わず涙して「#枝野泣ける」、日本全国を飛び回る姿に「#枝野寝ろ」、街頭演説に多くの聴衆が溢れた時は「#枝野見えない」



福島での演説を聞いた後は「#枝野は僕らが勝たせる」のタグが立った。

撮影された写真や動画は「#立憲カメラ」としてツイキャス(生放送配信)やYouTubeにアップされ多くの人にシェアされる。

今回の衆議院議員選挙では新たなメディアを使った市民による自発的な広報活動の広がりを目の当たりにした。

広げよう！ 地域の居場所



子どもたちが描いたフラッグ

今年6月、狛江市民活動支援センター「こまえくぼ」に地域で子ども食堂や居場所の活動に取り組む団体と狛江フードバンクが一堂に会しました。子どもたちもいつ、どこで、どんな食堂がオープンしているのかわかるように「狛江のみんなの居場所」をつくらうと盛り上がりました。7月末、できたてホヤホヤのごはんマップを市民活動支援センターをはじめ市役所、公民館、児童館や自治会の掲示板などにも貼りました。私の参加している「みんなの居場所」も含めどこもボランティアで活動している団体です。が、それぞれに個性があり、一緒にごはんを作ったり食べたりするだけでなく、遊びやミニ音楽会、中・高校生の勉強など食事以外の活動や工夫も

いっぱいです。

通常西河原公民館で第2土曜日に開催している「みんなの居場所」を夏休み中は2回開催しました。1回目は西河原公園内プレーパークとの共催で、流しそうめん。生産農家さんから竹の提供を受けました。2回目は夜ご飯と一緒に食べよう！で、メニューはタコライス。人形劇や紙芝居、教えてもらった手話で歌も歌いました。各団体ともに「フードバンク狛江」から食材の提供を受けているおかげでボランティアでの運営が成り立っていると云えます。

8月20日、キタコマ映画祭の会場で、6月に知り合った団体がコラボする企画「みんなで食堂」も実現しました。この夏初めて地域でつながる事が出来た活動をこれからも一歩ずつ広げていきたいと思えます。

(市議会議員・山本あき子)



子どもの歓声があがる流しそうめん



講演会「フードバンクを地域のしくみに」にて、田中理事長と

上映会のお知らせ：「みんなの居場所」が企画したドキュメンタリー映画「さとにきたらええやん」の上映会です。子どもにも、子どもにかかわるすべての大人にも観てほしい！いま、求められている“居場所”の原風景。

上映日時 11月25日(土) 13:30~15:10
 場所 西河原公民館3階多目的ホール
 チケット代 200円 問合せ 090-6197-6678 松崎
 後援 狛江市、社会福祉協議会 あいとぴあ助成事業

さとにきたら ええやん



狛江の魅力創出 多摩川にて 10/8,9 TAMARIBA



吉野よしあ 一般質問

◆義務教育後の若者に切れ目ない支援を行うために

狛江市では、児童青少年部、教育部、福祉保健部が連携を強化し若者支援を進めるためのプロジェクトチームを立ち上げました。実態把握のためのアンケート調査を含め、支援のためには多岐にわたる連携や関係の構築など多くの課題があります。

まず、子ども・若者の活動や居場所の充実が求められています。青少年会議での意見や提案の実現に向け、(仮)



山本あき子の 一般質問

住み慣れた狛江で安心してくらすために

狛江の人口は8月1日現在で81,589人、その4分の1が65歳以上で、その半数が75歳以上です。私たちが年をとっても地域で安心して暮らし続けるしくみが狛江にはあるのでしょうか。

来年度からの第7期介護保険事業計画策定が始まっています。第6期計画の総括から課題を抽出して解決の糸口を探り、次期計画に反映しなければなりません。

北部児童館は中高生センターとしての役割を果たし、防音設備のある音楽室には軽音楽が出来る備品を要望しました。また多世代の交流や中高生の居場所として常設型プレーパークには期待をしています。

ひきこもり支援の秋田県藤里町の取組みや非行克服支援センター事業などについても把握し、情報提供できるように求めました。

◆市民と創る安心安全なまちへ参加と情報提供の促進を
 8月22日に緑野小備蓄倉庫と災害給水ステーション

地域密着型サービスのなかで特に充実してほしい小規模多機能型居介護の利

用者が増えない理由や狛江独自の施策である障がい者枠の利用が振るわない原因を追究すべきです。加齢に伴って認知症や医療ケアの必要な高齢者が増えるのは必ずです。今後は訪問看護の機能を加えた看護小規模多機能型居介護が求められています。訪問看護ステーションや訪問診療、往診医など他職種間の連携の構築を念頭に置き、次期計画に位置付けてほしいと要望しました。

の見学をしました。まず知ること。若い年代や転入した市民が関心を持って参加できる防災の企画が望まれます。学校での総合防災訓練なども拡充し、『消火より、身の安全の確保』など発災後の行動の流れを市民自身

が必要で、市境に建設が進められている外環道はシールド工法によるもので、深刻な事故の事例が多く、住民の理解が得られているとは言えません。工事の進捗など住民への情報提供を速やかに確実にしよう要望しました。

要支援1, 2の訪問介護、通所介護が介護保険給付から外され、受け皿として新総合事業が創設されましたが、通所型サービスAに参入する事業者が少ない状況です。改善するには報酬等の見直しが必要で、保険者として市の政策実現力が試されるなか、引き続き努力して欲しいと強く要望しました。

◆学校における人権と安全性について

もう1問は、LINEを活用している行政の取組みを参考にしよう要望しました。